

アメリカ研修通信6号

平成26年11月16日

本日も1人も欠席することなくプログラムをスタートすることができました。午前中は英語クラス、クラスによっては誕生日をクラスで祝っていました。午後からは3組がキャンパスアクティビティ、1組・2組はITS, アルパインといった企業訪問をしてきました。

昨日の企業訪問についての報告です。

3組は、「J-Plaza」というレストランで企業見学をさせていただきました。代表の石井さんはとても気さくな語り口で、ジョークも交えながらお話しをしてくださり、生徒はリラックスした雰囲気の中で熱心に耳を傾けていました。17歳で渡米され、まだ英語が話せなかった時に、得意のサッカーでたくさんの友達を作ったそうです。生徒達にも、言葉の壁に戸惑わずにコミュニケーションをとる努力をしてほしいとっておられました。また、米国は今空前の日本ブームであり、アニメ、ファッション、キャリーぱみゅぱみゅ、和食などが多くの人々に受け入れられていて、日本人であるだけで得であること、海外に出て初めて分かる日本の良さ（治安は特に）、などを挙げ、生徒に日本人であることに自信と誇りを持ってほしいと伝えておられました。Bridgeでは、様々なビジネスを展開しており、その一つにタレントマネジメントがあるそうです。数年前には、石井社長ご自身が「硫黄島からの手紙」で何と、嵐の二宮君と共演したこともあり、その話題に女子生徒たちは一気に盛り上がっていました。最後には、「学校で教えない英会話」として、米国で大切な3つのキーワードを紹介してくださいました。生徒は、「さっそくホストファミリーとのコミュニケーションの中で試してみたい！」と積極的に受けとめていたようです。

1組は、「ITS Corporation」という海運貿易会社へ行きました。港に会社があるため、到着するまでに何回かセキュリティーのゲートを通し、パトカーの先導もしてもらい、緊張感の中で会社へ到着をしました。到着後は、久しぶりに日本語が不自由なく使えることもあり、生徒はリラックスすることができました。まず、社長のカワムラさんが、自ら会社の事業内容を映像で説明してくださり、次に広大な施設を他のスタッフとともにバスで案内して頂きました。生徒は全員、セーフティージャケットを着用して、ヘルメットをかぶり、ここでしか体験できない雰囲気の中で見学ができました。アメリカの企業のスケールの大きさや、港の巨大さ等も実感できたはずです。最後に会社内に戻り、カワムラさん他4名の日本人の職員の方が「なぜ、この仕事を選んだのか」「なぜ、ここ（ロサンゼルス）で働いているのか」等を話してくれました。国際感覚が盛り沢山、夢が盛り沢山、の内容に生徒は圧倒されていました。生徒からの質問も多数出て、それにも答えていただきました。生徒にとって、この会社を訪問したことのインパクトは、非常に大きく、心から「ITS Corporation」を訪問してよかったと思える充実した時間を過ごすことができました。





